

## 2021年度 第2四半期累計事業概況

東武トップツアーズ株式会社(本社：東京都墨田区、社長：百木田康二)の、2021年度第2四半期(2021年1月～6月)累計事業概況をお知らせいたします。

報道関係の方からのお問合せ

東武トップツアーズ株式会社 経営戦略部 広報担当 TEL:03-3622-6215

## 第 2 四 半 期 累 計 事 業 概 況

( 2021 年 1 月 1 日から  
2021 年 6 月 30 日まで )

2021 年の世界経済は、国や地域による違いはあるものの、総じて新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の影響による経済活動の落ち込みから回復基調にあり、今後もワクチンの普及や自粛・活動制限の緩和により、全体として景気回復に向けた動きが続いていくと予測されています。

日本経済においても 2021 年 4～6 月期の実質 GDP 成長率は前期比 +0.3%（年率換算 +1.3%）とプラス成長となり、輸出の増加を受け製造業が堅調に推移しています。一方、度重なる緊急事態宣言の発出で個人向けサービスの低迷が続くなど、業種による景況感の二極化も鮮明となってきたことに加え、新型コロナ変異株の感染拡大もあり、感染防止と経済活動のバランスをとりながら推移する状況が続くと思われま

す。旅行業界においては、新型コロナの感染拡大に伴う外出自粛や渡航制限による国内外への旅行需要消失が続く中、昨年制定した「新しい旅のエチケット」などを通じ、感染リスクを避け安心して楽しめる旅行を推進できるよう、引き続きニューノーマル下での旅行のあり方を模索しています。

海外旅行者数は、入国制限や行動制限などが各国で実施されている影響もあり、1～6 月の累計で前年同期比 93.4%減の約 20 万人となりました。また訪日旅行者数は、1～6 月の累計で前年同期比 97.6%減の 9 万 6 千人となりました。日本における検疫強化や査証の無効化、各国における日本への渡航警戒レベルの引上げなどが引き続き影響していると考えられます。新型コロナにより世界的に旅行需要が停滞しているため、感染症の推移に伴う市場動向を見極めていく必要があります。

こうしたなか当社は、「旅で地域を元気に」という想いのもと、観光庁の誘客多角化に向けた実証事業への参画や、「東武沿線 校外学習応援キャンペーン」をはじめとするソーシャルディスタンスに配慮した新しい旅のカタチを提案する旅行商品の造成、また新型コロナ感染防止に関して自治体等と連携した事業を進めました。

また、本社管理部門の事務所スペースの減床や、店舗網再編による固定費の削減をはじめ、諸手当、労務費の見直し等を行い、大幅な営業費の圧縮を行いました。

その結果、当第 2 四半期累計期間の業績は、取扱高 168 億 97 百万円（前期比 16 億 28 百万円減）、営業収益 143 億 26 百万円（前期比 106 億 3 百万円増）、営業損失 6 億 12 百万円（前期比 41 億 5 百万円増）、経常利益 6 億 18 百万円（前期比 53 億 27 百万円増）、当期純利益 2 億 37 百万円（前期比 44 億 6 百万円増）となりました。

商品別の概況は以下のとおりです。

## <国内旅行>

国内旅行の当第2四半期累計期間実績は、取扱高83億19百万円（前期比38億19百万円減）、営業収益65億75百万円（前期比44億44百万円増）となりました。

団体旅行は受託案件を除き新型コロナ感染拡大の影響が続く中、取扱高は前期比16億83百万円減の55億46百万円となりました。

一方、個人旅行においては、外出自粛や行動制限といった背景のなか、企画商品、航空券、JR券販売などが不振で、取扱高は前期比21億35百万円減の27億72百万円となりました。

## <海外旅行>

海外旅行の当第2四半期累計期間実績は、取扱高3億61百万円（前期比43億56百万円減）、営業収益1億75百万円（前期比8億24百万円減）となりました。

団体旅行は昨年来続く渡航制限による旅行需要の冷え込みが大きく影響し、取扱高、営業収益ともに前年を下回る結果となりました。個人旅行においても、新型コロナ感染拡大に伴って実施された各国への渡航制限が継続していることを受け、航空券をはじめ各分野で前年を下回りました。

## <訪日旅行>

訪日旅行の当第2四半期累計期間実績は、取扱高2億11百万円（前期比4億66百万円減）、営業収益2億8百万円（前期比71百万円増）となりました。

## <受託事業>

受託事業等の当第2四半期累計期間実績は、取扱高80億4百万円（前期比70億11百万円増）、営業収益73億67百万円（前期比69億11百万円増）となりました。

新型コロナ感染拡大の影響で旅行需要が回復しない中、各地域における誘客事業やワクチン接種支援事業、各種感染防止対策事業等、自治体等と連携して従来の旅行の枠組を超えた新たな事業展開を推進した結果、収支改善に大きく貢献しました。

第2四半期累計期間における事業の状況は以上のとおりです。

※営業収益については、当事業年度より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

## 貸借対照表

(2021年6月30日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	29,861 百万円	流 動 負 債	35,366 百万円
現金及び預金	8,058	短期借入金	3,500
預 け 金	11,378	未 払 金	2,567
顧客未収入金	4,656	未精算旅行券	865
未収手数料	10	未払法人税等	264
短期貸付金	2	未払消費税等	341
旅行前払金	5,356	未 払 費 用	187
前 払 費 用	185	預 り 金	10,410
その他の流動資産	236	前 受 金	6,948
貸倒引当金	△ 24	旅行前受金	9,738
		賞与引当金	321
		リース債務	111
		その他の流動負債	110
固 定 資 産	11,715	固 定 負 債	2,411
有形固定資産	461	退職給付引当金	2,223
建 物	93	関係会社清算損失引当金	14
器 具 備 品	145	リース債務	98
土 地	16	繰延税金負債	15
リース資産	205	その他固定負債	59
		負 債 合 計	37,778
		純 資 産 の 部	
無形固定資産	923	株 主 資 本	3,762
ソフトウェア	918	資 本 金	3,000
ソフトウェア仮勘定	0	資 本 剰 余 金	1,200
その他の無形固定資産	3	資本準備金	750
		その他資本剰余金	450
投資その他の資産	10,330	利 益 剰 余 金	△ 437
投資有価証券	132	その他利益剰余金	△ 437
関係会社株式	387	繰越利益剰余金	△ 437
長期貸付金	8,740		
破産・更生債権等	581	その他有価証券評価差額金	35
長期前払費用	0		
差入保証金・敷金	995	純 資 産 合 計	3,798
その他の投資等	142		
貸倒引当金	△ 650	負 債 及 び 純 資 産 合 計	41,576
資 産 合 計	41,576		

※百万円未満については切り捨てて表示しております。

## 損 益 計 算 書

( 2021年 1月 1日から  
2021年 6月 30日まで )

科 目	金 額	
	百万円	百万円
営 業 収 益		14,326
営 業 費		13,776
営 業 総 利 益		550
一 般 管 理 費		1,162
営 業 損 失		612
営 業 外 収 益		
受取利息および配当金	74	
為替差益	70	
助成金収入	416	
受取補償金	2,495	
その他の収益	4	3,061
営 業 外 費 用		
支払利息	7	
支払補償金	1,816	
その他の費用	6	1,830
経 常 利 益		618
特 別 損 失		
減損損失	29	
店舗閉鎖損失	8	37
税引前当期純利益		580
法人税、住民税および事業税	201	
法人税等調整額	142	343
当 期 純 利 益		237

※百万円未満については切り捨てて表示しております。